

# 平成19年 鹿屋市消防出初式



整列する消防団員を山下市長が観閲（鹿屋会場）



規律正しい小隊訓練を披露（吾平会場）



ラッパ隊を先頭に市中行進（輝北会場）



全分団が一斉放水（串良会場）

1月7日、平成19年鹿屋市消防出初式が、鹿屋会場（田崎多目的運動広場）、吾平会場（吾平運動場）、輝北会場（市成小学校グラウンド）、串良会場（串良小学校グラウンド）の4か所で開催されました。

消防団とは、本業を持ちながら、地域の安全を守るために活動する人が集まる消防機関の一つで、団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、消火活動や救助活動、防災活動などに従事して、地域住民の生命や財産を守ります。

鹿屋市消防団は、鹿屋消防団（29分団）、吾平消防団（5分団）、輝北消防団（5分団）、

串良消防団（8分団）の4団47分団で構成し、現在、計962人の団員が活動しています。

式では、消防庁長官表彰や日本消防協会会長表彰、県知事表彰などの表彰状の伝達や、永年勤続退団者等への感謝状の贈呈が行われた後、山下市長が日ごろの消防団活動に対する感謝とともに、地域の消防・防火の任務に携わる団員を激励しました。

また、消防団員による分列行進や規律訓練、消防ポンプ操作などが披露され、最後に一斉放水を行って今年一年の安全と防火を誓いました。



幼年消防クラブ員による「はしごのぼり演技」（串良会場）